

# 東アジア諸国における少子化

## — 出生、家族、就業、COVID-19 —

東アジア諸国は、いま世界でもっとも少子化がすすんでいます。それは雇用、家事、教育等の複合的な要因によってもたらされています。新型コロナウイルス (COVID-19) の世界的な感染拡大は、東アジア諸国の少子化を一層すすめる可能性があります。このセミナーでは、各種データの分析から、東アジア各国の出生・家族・就業の特徴および COVID-19 の影響を探ります。

日時

2021 **12/11** (土)  
13:00~17:30

開催方法

ZOOM ウェビナー

**参加費 無料**

参加をご希望の方は、12月5日までに、右記のフォーム (QRコード参照) に参加登録をお願いいたします。



参加を申し込みいただいた方には、後日URL等をお知らせします。定員になり次第、受付を終了します。

### 第 I 部 13:00~15:30

パネルデータを用いた家族・就業の分析

司会 **松田茂樹** (中京大学教授)

**佐々木尚之** (大阪商業大学准教授)

**松田茂樹** (中京大学教授)

「何が第2子の出生を促すのか」

**藤間公太** (国立社会保障・人口問題研究所室長)

**北村友宏** (慶應義塾大学大学院)

**竹ノ下弘久** (慶應義塾大学教授)

**陳テイテイ報告** (慶應義塾大学大学院)

「追加出生についての社会階層論的検討」

**裴智恵** (桜美林大学准教授)

**申在烈** (青山学院大学助教)

「韓国における仕事と家庭の両立支援と少子化」

**小川和孝** (東北大学准教授)

「職業キャリア軌跡の日台比較」

**田上皓大** (慶應義塾大学大学院)

「勤続に伴う労働時間の個人内変化」

コメンテーター

**渡辺秀樹** (慶應義塾大学名誉教授)

**曹成虎** (韓国保健社会研究院研究員)

### 第 II 部 15:45~17:30

新型コロナが家族・就業・出生に与えた影響

司会 **竹ノ下弘久** (慶應義塾大学教授)

**西村純子** (お茶の水女子大学准教授)

「新型コロナ渦における家事・育児のアウトソーシング、親族サポートと夫婦の家事・育児分担」

**梁凌詩ナンシー** (東洋大学アジア文化研究所客員研究員)

「日本における新型コロナが出生及び出生意欲に及ぼす影響に関する考察」

**劉語霏** (台湾・中国文化大学准教授)

「新型コロナが台湾における就業や家族生活に与える影響」

コメンテーター

**金鉉哲** (韓国青少年政策研究院長)

企画者：松田茂樹 (中京大学教授)、竹ノ下弘久 (慶應義塾大学教授)  
本研究はJSPS科研費18H00936 (「東アジア諸国における少子化の国際比較研究—理論的把握とパネルデータによる実証分析」研究代表者・松田茂樹) の研究成果です。